

柱7 セーフティネット

【現状と課題】

(1) 包括的な自立支援の推進

□課題の複合化や、ひきこもりや孤立など制度の狭間にある問題など既存の枠組みでは解決できない課題がより深刻化しており、自らSOSを発信できない人や必要な支援を受けられていない人を適切な支援につなげていくこと。

(2) 貧困対策、自殺対策、犯罪被害者等支援、再犯防止

□子どもが貧困の連鎖に陥ることなく、社会で自立していくための環境を整えること。

□生活困窮者の自立に向けた相談支援及び一人ひとりの状況に応じた包括的な支援の実施。関係機関を活用した就労支援とその定着を一体的かつ継続的に行う支援。

□若者の課題の多様性(経済的困難、就労、家族との関係、ひきこもり等様々)。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、社会との関わりに課題を抱える若者の増加につながる可能性があることを踏まえた、若者とその家族の状況を総合的に把握したうえでの、段階的な自立支援、関係機関が連携した継続的な支援。

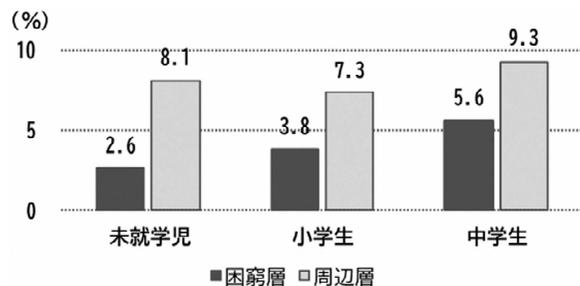
□区内の自殺率の全国より高い傾向を踏まえた、誰にでも起こりうる危機であるという認識と自ら助けを求められることができる体制づくり。

□犯罪被害者支援窓口の周知の強化、及び周囲からの偏見、配慮に欠ける行動などの二次被害を防ぐことを目的とした、犯罪被害者への理解の拡大。

□罪を犯したことによる就労や住居の確保の困難さなど生きづらさを抱える人に対して、犯罪や非行予防を進め、地域で孤立しないよう複雑な課題に配慮した支援が得られる環境づくり。

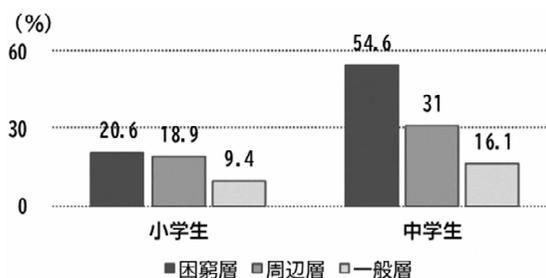
96

生活困難層の割合



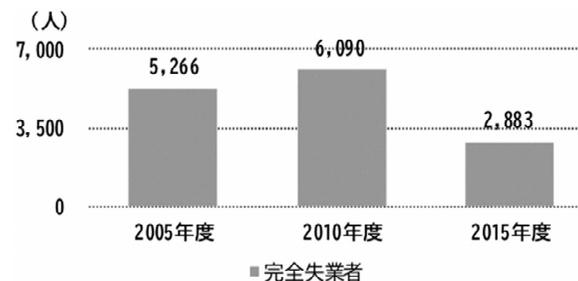
中野区基本計画 施策14より

授業がわからないと答えた子どもの割合



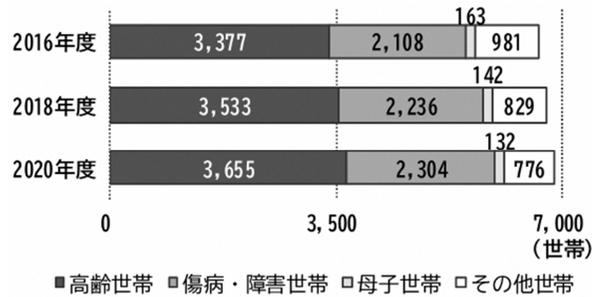
中野区基本計画 施策14より

15～39歳の完全失業者数(中野区)



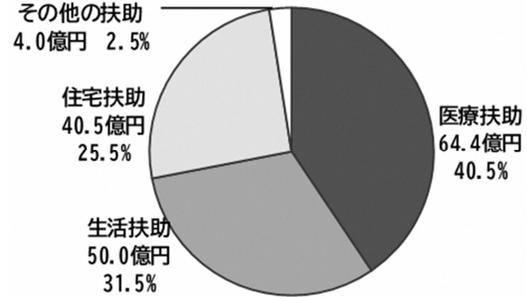
中野区基本計画 施策27より

世帯類型別被保護世帯数



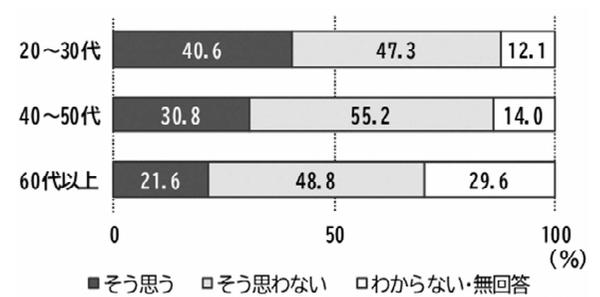
中野区基本計画 施策35より

生活保護費の内訳（2020年度）



中野区基本計画 施策35より

自殺対策は自分自身に関わると思う人の割合



中野区基本計画 施策33より

【取組の例】

課題	取組みの方向性	団体・区の今後の取組	関係団体名・区の主管課	現状と令和7年度(2025年度)の目標値								
(1) 包括的な自立支援の推進	●社会との関わりに課題を抱える若者とその家庭の状況を総合的に把握し、段階的に自立につながるよう、関係機関・地域との連携などにより、社会参加や就労に向けた継続的な相談支援体制を構築する。	★若者の自立を支援する仕組みづくり ○(仮称)中野区子ども・若者計画の策定 ○地域ケア会議運営 ○アウトリーチ活動の推進 ○ヤングケアラーへの相談支援体制の整備	育成活動推進課 児童福祉課 地域包括ケア推進課 ほか	①子ども・若者支援センター及びすこやか福祉センターにおける若者相談対応件数(実人員) <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>138人</td> <td>220人</td> </tr> </table> (社会との関わりに課題を抱える若者やその家族の相談窓口に対する区民の認知度を計るため) ②若者相談対応により課題の解決に至った件数(実人員) <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>31人</td> <td>55人</td> </tr> </table> (若者が抱える困難の解決に向けて相談対応の実効性を計るため)	2020年度	2025年度	138人	220人	2020年度	2025年度	31人	55人
		2020年度	2025年度									
		138人	220人									
2020年度	2025年度											
31人	55人											
★若者への相談支援体制の整備 ○若者支援事業(若者への相談支援体制の整備) ○ひきこもり等相談支援事業	児童福祉課 すこやか福祉センター ほか											
ひきこもり支援事業 ○区と社会福祉協議会との協働による、包括的に支援する体制の構築	地域包括ケア推進課											

		<p>★若者の自立とその家族への支援</p> <p>○若者支援事業(若者の自立とその家族への支援)</p>	<p>児童福祉課</p> <p>育成活動推進課</p>								
<p>●潜在的な要支援者を早期に発見し、本人やその家族を必要な相談支援につなぐため、地域のネットワークなどを通じた取組を進める。</p>	<p>地域の身近な相談者として、支援が必要な人から話を傾聴し、関係機関に支援の依頼を行う</p>		<p>中野区民生児童委員協議会</p>								
	<p>高齢者等家族をケアしている介護者家族(ヤングケアラーも含む)に関して、支援を必要としている人の発見や支援体制の構築に向けた情報発信や連携協力</p>		<p>中野区介護サービス事業所連絡会</p>								
	<p>○社会的孤立状態にある人や生きづらさを抱えた方へ、住民や関係機関、本人や家族が相談しやすい相談窓口を提供(福祉何でも相談)</p> <p>○ボランティア活動推進、相互支援の仕組み(ほほえみサービス、ファミリーサポートなど)による活動機会の提供や相談支援を行う</p>	<p>中野区社会福祉協議会</p>	<p>①ひきこもり等の生きづらさを抱えた方の新規相談件数</p> <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>年間15件</td> <td>年間30件</td> </tr> </table> <p>②ボランティア活動者数(ボランティア保険加入者数)</p> <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>4,371人</td> <td>6,000人</td> </tr> </table>	2020年度	2025年度	年間15件	年間30件	2020年度	2025年度	4,371人	6,000人
	2020年度	2025年度									
年間15件	年間30件										
2020年度	2025年度										
4,371人	6,000人										
<p>★要支援者の早期発見と継続的な見守り・支援</p> <p>○要支援者早期把握</p> <p>○アウトリーチ活動の推進</p>	<p>地域活動推進課</p> <p>すこやか福祉センター</p>	<p>○アウトリーチチームが対応して適切に支援につなげた割合</p> <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>78.4%</td> <td>85%</td> </tr> </table> <p>(アウトリーチチームの要支援者に対する対応状況を客観的に表す指標であるため)</p>	2020年度	2025年度	78.4%	85%					
2020年度	2025年度										
78.4%	85%										

(2) 貧困対策、自殺対策、犯罪被害者等支援、犯罪をした人の立ち直り支援・再犯防止	●生活に困窮する区民の経済的・社会的な自立に向け、個々の状況に応じた相談支援をはじめ、就労支援や家計改善支援等の一体的な支援体制の充実を図る。	○生活困窮者の住まい「つくろいハウス」の開設・運営 ○ホームレス経験者の社会的孤立を防ぐ居場所であり、地域住民との交流の場「潮の路」の運営等、様々な事業の展開	一般社団法人 つくろい東京ファンド								
		★生活困窮者に対する包括的な自立支援の推進 ○生活困窮者自立支援事業 ★被保護者の就労・定着支援 ○被保護者就労定着支援事業	生活援護課	①生活保護から自立した世帯数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>2020年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>187世帯</td><td>200世帯</td></tr> </table> <small>(就労支援プログラム等の実施により、生活保護から経済的な自立を促進するため)</small> ②生活困窮者を対象とした就労支援を受け就労した割合 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>2020年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>5.3%</td><td>40%</td></tr> </table> <small>(困窮からの経済的な自立につながったことを示すため)</small>	2020年度	2025年度	187世帯	200世帯	2020年度	2025年度	5.3%
	2020年度	2025年度									
187世帯	200世帯										
2020年度	2025年度										
5.3%	40%										
●生活が困難な状態にある子どもとその家庭に必要な支援が届くよう、行政、地域、民間事業者等が連携・協働して、子どもの学びの支援や生活の支援、経験・体験の機会の充実を図るなど、個々の状況に応じた支援を行う。	生活困窮者世帯家庭・不登校・外国籍・一時保護所・児童養護施設・長期入院中の子どもへのeラーニングシステムの提供	学習支援団体 CAMEL									
		不登校児・極端に学力不足の子・夜間子どもだけで過ごす時間の多い子・コミュニケーションの苦手な子・高卒認定資格合格を目指す子・その他課題を抱えた子等に対し、学習支援と居場所提供	子ども広場<どんぐり>								

		その都度勉強したい・自習の場がほしい子どもが集える場の提供	薬師たきび塾	
		○地域住民や子どもたちへみらいひろば(居場所、情報交換の場)や学習会の開催 ○学習支援「みらい塾」の取り組み協力 ○ひとり親家庭の高校生への奨学金給付	生活協同組合コープみらい	
		○経済的な理由で有料塾に行けない中学生、不登校や発達障害を抱えた児童への無料学習支援 ○『子どもを主役とする食堂』に来ることを望むあらゆる人が集まる食堂として、食事の提供	特定非営利活動法人ここからプロジェクト	
		常設型のフードパントリー体制の確立	中野区社会福祉協議会	
		○子どもからお年寄りまでが夕食を共にする地域交流の場の提供、 ○1人親家庭及び多子家庭向けのフードパントリー	ぬまぶくろワイワイ食堂	
		地域の子どものお弁当の配食	こども食堂 Annekaffeekanne	
		ひとり親世帯、子育て世帯、若くて貧困状態にある方向けに、食材・食品の提供	東部町会フードパントリー	
		食生活にお困りの方向けに、食材・食品の提供	こまちゃんパントリー さくらフードパントリー	
		子ども向け食堂、配食	エプロン若菜	

	<p>総合的な子どもの貧困対策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの貧困対策に関する計画策定 ○子どもの貧困対策関連の団体・民間事業者等との連携 	子ども・教育政策課	<p>①授業が「よくわからない」と感じる困窮層の子ども(小・中学生)の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生:20.6%</td> <td>小学生:15</td> </tr> <tr> <td>中学生:54.6%</td> <td>中学生:50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(家庭の環境に関わらず、義務教育レベルの学力が身に付いているか計るため)</p> <p>②「がんばれば、むくわれると思う」と答える子ども(小・中学生)の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生:83.0%</td> <td>小学生:88%</td> </tr> <tr> <td>中学生:77.0%</td> <td>中学生:82%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(生まれた環境に左右されることなく、自ら困難に立ち向かい自立する力が培われているか計るため)</p>	2019年度	2025年度	小学生:20.6%	小学生:15	中学生:54.6%	中学生:50	2019年度	2025年度	小学生:83.0%	小学生:88%	中学生:77.0%	中学生:82%
2019年度	2025年度														
小学生:20.6%	小学生:15														
中学生:54.6%	中学生:50														
2019年度	2025年度														
小学生:83.0%	小学生:88%														
中学生:77.0%	中学生:82%														
	<p>困難を抱える子どもの学習の機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの学習の支援 	子ども・教育政策課 ほか													
	<p>子どもと保護者の生活環境の改善に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活環境の改善支援 	子ども・教育政策課 ほか													
<p>●誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、関係機関との連携を図るとともに、区民と協働しながら全ての人に生きることを支える支援を進める。</p>	<p>★自殺を未然に防ぐ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策メール相談事業 ○自殺対策普及啓発 ○中野区自殺対策審議会 	保健予防課	<p>①自殺死亡率(10万人対)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2016~20年の平均</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17.6人</td> <td>14.4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「中野区自殺対策推進計画」による総合的な取組の成果を計るため)</p>	2016~20年の平均	2025年度	17.6人	14.4人								
2016~20年の平均	2025年度														
17.6人	14.4人														
<p>●犯罪被害に遭ってもできるだけ早く穏やかな生活が送れるよう、区民の理解を深めるとともに、関係機関と連携し、途切れることのない支援を進める。</p>	<p>★犯罪被害者等を支える地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○犯罪被害者等相談窓口 ○経済・日常生活支援 ○犯罪被害者等支援普及啓発 	福祉推進課													
<p>●犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、地域で孤立させないため、関係機関との連携や支援を行う包括的な体制の構築を進める。</p>	<p>★再犯防止に向けた関係機関との連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再犯防止推進事業 ○再犯防止普及啓発 	地域活動推進課													

<p>●犯罪や非行を防ぐとともに、犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、地域で孤立させないため、保護司、更生保護ボランティア団体、関係機関・団体等と区が連携した取組や支援を行う包括的な体制の構築を進める。</p>	<p>○保護司活動を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護の取組</p> <p>○保護司活動や「社会を明るくする運動」を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護・再犯防止普及啓発</p>	<p>保護司</p>	
	<p>犯罪や非行の防止のための啓発活動や、少人数の区民による対話集会(ミニ集会)の実施、矯正施設の慰問、保護司への協力などの他、子育て支援活動等の地域社会づくり。</p>	<p>中野区更生保護女性会</p>	
	<p>犯罪や非行防止、犯罪や非行をした人の立ち直り支援に向けた関係機関・団体との連携推進</p> <p>○犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や再犯防止推進</p> <p>○犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護・再犯防止普及啓発</p>	<p>地域活動推進課</p>	

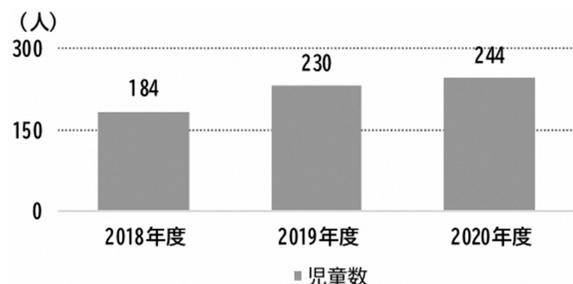
柱8 子どもと子育て家庭、障害者及び高齢者特有の課題

【現状と課題】

(1) 子どもと子育て家庭特有の課題

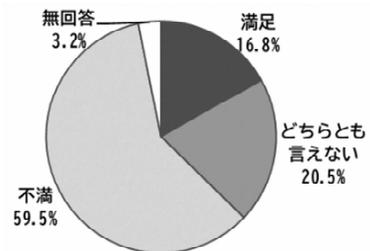
- 子育て支援活動への参加率は1割未満であり、担い手不足の改善を図るための地域団体同士の交流や人材発掘、団体と担い手のマッチング等の促進。
- 小学生の放課後の安全・安心な活動拠点や居場所を充実していくこと。
- 乳幼児親子の居場所、一緒に遊べる環境の充実。

小学校特別支援教室利用児童数



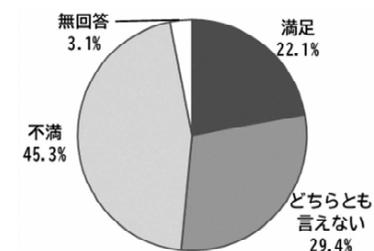
中野区基本計画 施策17より

「遊び・憩いの環境」に対する保護者の満足度



中野区基本計画 施策25より

「商業環境」に対する保護者の満足度

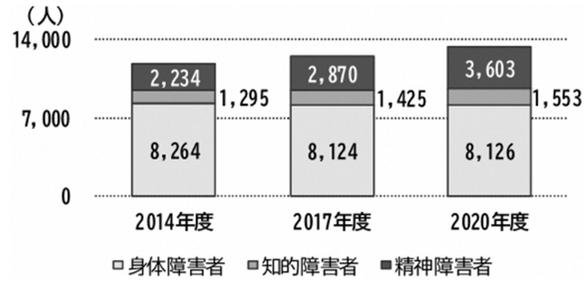


中野区基本計画 施策25より

(2) 障害者特有の課題

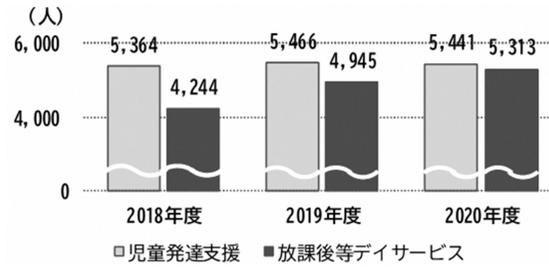
- 特別な配慮を必要とする子どもと子育て家庭への支援に向けた、すこやか福祉センターと療育センターとの連携強化による、一貫した相談支援体制の充実。
- 発達障害等に関する区民の理解の促進や保護者同士がつながる機会の提供。
- 障害者が住み慣れた地域、身近な地域で安心して日常・社会生活を送るため、地域移行のための支援や地域での生活を継続するためのサービス利用につなげる相談支援が必要であり、多様化する障害者のニーズや医療的ケアに対応できる体制、介護者の負担軽減など障害者の地域生活への移行及び継続を支える基盤整備。

障害者手帳所持者数



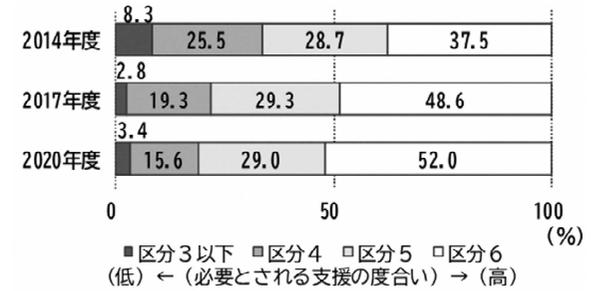
中野区基本計画 施策34より

障害児通所支援事業の延利用人数



中野区基本計画 施策23より

施設入所者の障害支援区分

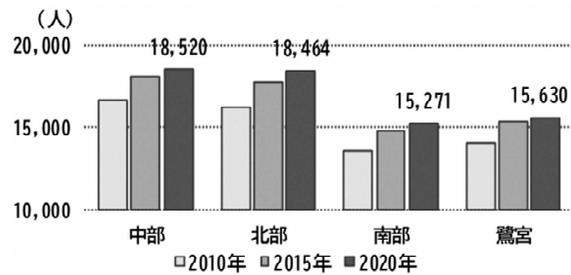


中野区基本計画 施策34より

(3)高齢者特有の課題

□高齢者の介護予防の拠点である高齢者会館を中心に、さまざまな層が参加できる介護予防・フレイル予防に係るプログラムの提供などをさらに推進していくこと。

高齢者人口 (すこやか福祉センター圏域別)



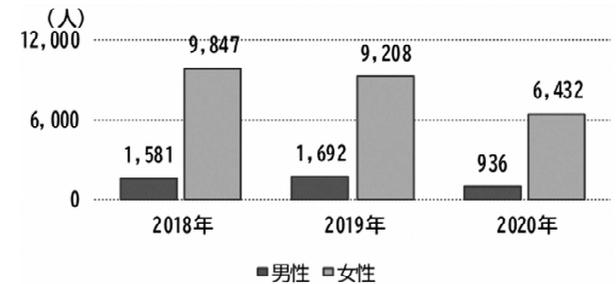
中野区基本計画 施策28より

介護サービス利用者数



中野区基本計画 施策31より

男女別介護予防事業参加者数 (音響機器による事業)



中野区基本計画 施策31より

【取組の例】

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体名・区の主管課	現状と令和7年度(2025年度)の目標値				
(1)子どもと子育て家庭特有の課題	●安心して妊娠・出産・育児をすることができるよう、妊娠から子育てにかかる切れ目ない一貫した相談支援体制の充実を図る。	★妊娠・出産・子育てトータル支援 ○乳幼児健康診査 ○妊娠出産トータル支援	すこやか福祉センター ほか	①妊産婦に対する妊産期相談支援事業実施の割合 <table border="1"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>89.9%</td> <td>95%</td> </tr> </table> (妊産婦の実情に合わせて適切な相談支援や情報提供を行っているか計るため)	2020年度	2025年度	89.9%	95%
	2020年度	2025年度						
	89.9%	95%						
	●子育て支援活動の活性化に向け、子育て支援を担う人材の発掘や子育て関連団体のネットワーク化を進める。 ●子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、区民相互の助け合いによる子育て支援活動を促進する。	理由を問わない乳幼児の一時預かり(要事前申し込み)	さぎのみや・あいあいサポート					
		乳幼児と保護者がのんびり過ごせる場の提供	すくすくクラブ					
		乳幼児と保護者が集える場の提供	子育ての輪なかの					
図書館や保育園などで読み聞かせや人形劇などの公演を実施		おはなしびっくり箱						
子育て支援・世代間交流		こども食堂さくら						
	(区からの受託事業) ○産後のお母さんの交流会(Welcome!!はじめてママ) ○マタニティケアクラス ○多胎児交流会 ○子育て支援講座、親子の避難訓練講座 (独自事業) ○多胎児交流会 ○オンラインでテーマ毎の情報交換 ○抱っこひも体験会	東京都助産師会新宿中野杉並地区分会						

	<p>●発達の課題や障害のある子どもへの教育的ニーズに応じた指導を推進し、インクルーシブ教育のより一層の充実を図る。</p> <p>●適切な教育環境を選択できるよう、早期から保護者の理解を促進するとともに、関係機関との連携や専門的知見に基づく就学相談等の取組を推進する。</p>	<p>○関係機関との支援会議の実施</p> <p>○在籍児童生徒の保護者以外からも学校相談・心理相談の実施</p>	<p>東京都立中野特別支援学校</p>									
		<p>早期からの理解促進と就学相談</p> <p>○就学相談</p> <p>○就学相談説明会</p> <p>○特別支援学級見学会</p>	<p>子ども特別支援課</p>	<p>①「日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている」と考える保護者の割合</p> <table border="1" data-bbox="1637 408 2031 507"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>87.7%</td> <td>95%</td> </tr> </table> <p>(障害児通所支援サービスに対する評価を計るため)</p> <p>②区立障害児通所支援施設における保護者を支援するプログラムの開催回数</p> <table border="1" data-bbox="1637 647 2031 746"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>18回</td> <td>24回</td> </tr> </table> <p>(障害児の保護者支援や交流支援により、保護者の支え合いが行われているか計るため)</p>	2020年度	2025年度	87.7%	95%	2020年度	2025年度	18回	24回
2020年度	2025年度											
87.7%	95%											
2020年度	2025年度											
18回	24回											
<p>(2)障害者特有の課題</p>	<p>●特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の置かれている状況や特性に応じて、必要な支援が受けられるよう、一貫した相談支援体制の充実を図る。</p> <p>●発達の課題や障害のある子どもとその家庭が地域で孤立することがないよう、発達障害等に関する区民の理解の促進や保護者同士が</p>	<p>重症心身障害の子を持つ親が、親・子どもともに安心していきいきと生活できるよう情報交換や情報共有、要望の整理等</p>	<p>中野区重症心身障害児(者)を守る会</p>									
		<p>★一貫した地域相談支援体制の整備</p> <p>○子ども発達支援事業</p> <p>○療育施設運営</p>	<p>子ども特別支援課 すこやか福祉センター</p>	<p>①「日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている」と考える保護者の割合</p> <table border="1" data-bbox="1637 1104 2031 1203"> <tr> <th>2020年度</th> <th>2025年度</th> </tr> <tr> <td>87.7%</td> <td>95%</td> </tr> </table> <p>(障害児通所支援サービスに対する評価を計るため)</p>	2020年度	2025年度	87.7%	95%				
2020年度	2025年度											
87.7%	95%											
		<p>★発達の課題や障害のある子どもに関する理解の促進</p> <p>○子ども発達支援普及啓発</p>	<p>子ども特別支援課</p>									

